

ご入園・ご進級 おめでとうございます！

はじめてのようちえん
はじめてのばらぐみ
はじめてのすみれぐみ
はじめてのさくらぐみ

みんな わくわく

みんな ときどき

みんな 春
一斉に 春



【令和5年4月4日の桜です】

お子様のご入園、ご進級、誠におめでとうございます。お子様たちは、それこそ首を長くして、今日の日を待ち望んでいたのではないのでしょうか！

みんな、輝いていました！ 瞳が、希望で満ちていました！ 体が躍動していました！ 今年にかける意欲がみなぎっていました！

明日から幼稚園生活が始まります。大人でさえ、いや、学生でさえ、小学生であれ、会社生活の1日目から、学校生活の1日目から、何の問題もなくスタートできる人は、ほとんどいないと思います。何かしらのつまずき、思い違い、想定外が多々あることと思われまふ。ましてや、幼児です。

“はじめてのおわかれ”が待っています。幼稚園に来て、お母さん、お父さんがお子様と別れるとき、様々な思いがそれぞれに去来し、そして様々なドラマが繰り広げられるのでした。でも、大丈夫です。子どもたちは、慣れていきます。幼稚園に来ると、お母さん、お父さんとではなく、先生と、お友達と過ごすことに。そしてそれが、けっこう、思いのほか楽しいことであることに。お母さん、お父さんも慣れていきます。後ろ髪は、だんだんひかれなくなります。

さて、親離れ、子離れ、どちらがはやいでしょうか？

ちょっと、あおってしまいましたが、あおられる必要はありません。大丈夫です。これまで、朝、1年間、泣いていたお子様はいませんでした。1学期間、泣きとおしたお子様もいませんでした。それぞれ、人それぞれで、全然泣かないお子様もいます。3日ぐらい、1週間ぐらい、1か月ぐらい、といったところでしょうか。でも、泣くことは、決してわるいことではありません。感受性が豊かであったり、それまでの親子の絆が深かったり、……。いやいや、泣かないことがわるいというのでもありません。まさに、人それぞれでありまして。身長、体重、すきなこと、きれいなこと、すきなたべもの、きれいなたべものも、みんな同じでないように。

お子様には、お子様のペースがあります。そのペースに合わせて、ささえていきましょう。見守っていきましょう。よりよい成長ができるように。

次のページは、本年度の本園の教育方針です。Iの1の「躰の三原則」に、「挨拶『おはようございます』とあります。この朝の挨拶は、大人になっても社会人になってもとても大切なことです。本園では、園長は、朝、門の所で子どもたちをお迎えすることになっています。どうか、ご家庭で、「幼稚園に行ったら、園長先生に元気よく『おはようございます』と言おうね」などと、お声掛けをお願いします。たった一言の「おはようございます」なのですが、なかなか言えないお子様もいます。でも、今は言えなくても、朝はおはようございますと挨拶することの習慣を、学んでいると思います。コミュニケーションの第一歩、社会人としての第一歩の「おはようございます」を、みんなが言えるようになることを願って、私も元気にご挨拶をします！

令和5年度の本園の教育方針は次のとおりです。

こどもたちが夢中になれる保育をしよう

I こども第一主義（こどもの笑顔を最優先）

- 1 こどもたちひとりひとりを愛情をもってかわいがり、そのこどもの育ちをよく理解する
 - ・年齢に応じた「あそび」が中心の楽しい保育の提供
 - ・こどもたちの興味・関心に寄り添える保育環境づくり
 - ・「躰の三原則」と立腰の継続
 - 挨拶「おはようございます」
 - 名前を呼ばれたら「ハイ」と返事する
 - 履物を揃える、立ったら椅子を中に入れる
 - 立腰（正しい姿勢を身に付ける）
- 2 こどもにも保護者にも安心・安全な環境を整える
 - ・こどもたちの安全確保
 - 園バス使用時の安全管理の遂行
 - 毎朝の出欠確認の徹底
 - ・新型コロナウイルス対応は常に意識し、徹底する
 - 市内感染状況を把握し、適宜対応していく
 - おもちゃ、遊具など備品の消毒
 - 教室の清掃、整理、整頓
 - ・固定遊具の点検（危険個所の確認）
 - ・自然災害（地震、台風等）の発生に備える
 - 避難訓練の実施
- 3 こどもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる
 - ・園外保育で公園で遊ぶ
 - ・園舎まわりにある自然散策
 - ・日本の良き伝統を伝える・・・「温故知新」
 - 日本古来の行事について、保育者自身がよく理解し、折に触れこどもに伝える
 - 日本古来の行事について、毎月園だよりにて保護者に知らせる



【第1園舎脇の新しいテントです。令和4・5年度の全園児から補助をいただき購入させていただきました。ありがとうございます。】

II 幼稚園教育要領への対応

→幼児期の終わりまでに（卒園する時に）育ててほしい10の姿
※国が示しているもの⇒幼児教育無償化の根拠

幼児期の終わりまでに（卒園する時に）育ててほしい10の姿

- 1 健康な心と体
- 2 自立心
- 3 協同性
- 4 道徳性・規範意識の芽生え
- 5 社会生活との関わり
- 6 思考力の芽生え
- 7 自然との関わり・生命尊重
- 8 数量・図形、文字等への関心・感覚
- 9 言葉による伝え合い
- 10 豊かな感性と表現



